

東北地方 1か月予報

(4月26日から5月25日までの天候見通し)

平成15年4月25日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では期間の前半に気温の低い時期があるでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

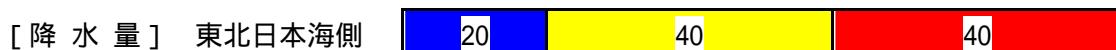
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の前半に気温の低い時期があり、おそ霜の降りる恐れがあります。

向こう1か月の気温は平年並か低い、降水量は東北日本海側は平年並が多い、東北太平洋側は平年並、日照時間は平年並でしょう。

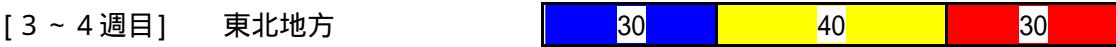
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は低い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月26日(土) ~ 5月25日(日)

1週目 : 4月26日(土) ~ 5月2日(金)

2週目 : 5月3日(土) ~ 5月9日(金)

3~4週目 : 5月10日(土) ~ 5月23日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月2日

3か月予報:5月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	12.9	151.8	187.6	11.4	12.3	13.8
新庄	13.3	107.8	171.2	11.4	12.5	14.3
若松	14.6	78.4	189.4	12.9	14.0	15.5
深浦	12.2	106.1	185.5	10.6	11.6	13.1
青森	12.3	77.2	200.5	10.5	11.7	13.2
むつ	11.3	92.7	199.2	9.6	10.7	12.3
八戸	12.3	84.1	200.4	10.7	11.8	13.2
秋田	13.4	124.6	180.1	11.7	12.7	14.2
盛岡	13.0	104.8	187.8	11.2	12.3	13.9
宮古	12.4	102.2	185.8	11.0	11.9	13.2
酒田	14.0	119.0	187.9	12.3	13.4	14.9
山形	14.6	82.1	193.1	12.8	14.0	15.5
仙台	14.2	111.5	191.3	12.6	13.6	15.0
石巻	13.2	102.3	197.5	11.6	12.6	14.1
福島	15.8	88.4	190.3	14.1	15.2	16.7
白河	14.1	118.0	182.2	12.6	13.6	14.9
小名浜	14.5	149.4	192.1	13.3	14.0	15.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	82~115	97~105
東北日本海側	-0.5~+0.6	83~116	96~104
東北太平洋側	-0.3~+0.5	76~114	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.9	-0.6~+0.9	-0.3~+0.6
東北日本海側	-0.8~+0.9	-0.6~+0.9	-0.4~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8	-0.3~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年4月25日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(4月26日~5月25日) :

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の前半に気温の低い時期があり、おそ霜の降りる恐れがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(4月26日~5月2日) :

明日(26日)と期間の後半は、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る所が多いですが、その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月3日~5月9日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(5月10日~5月23日) :

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

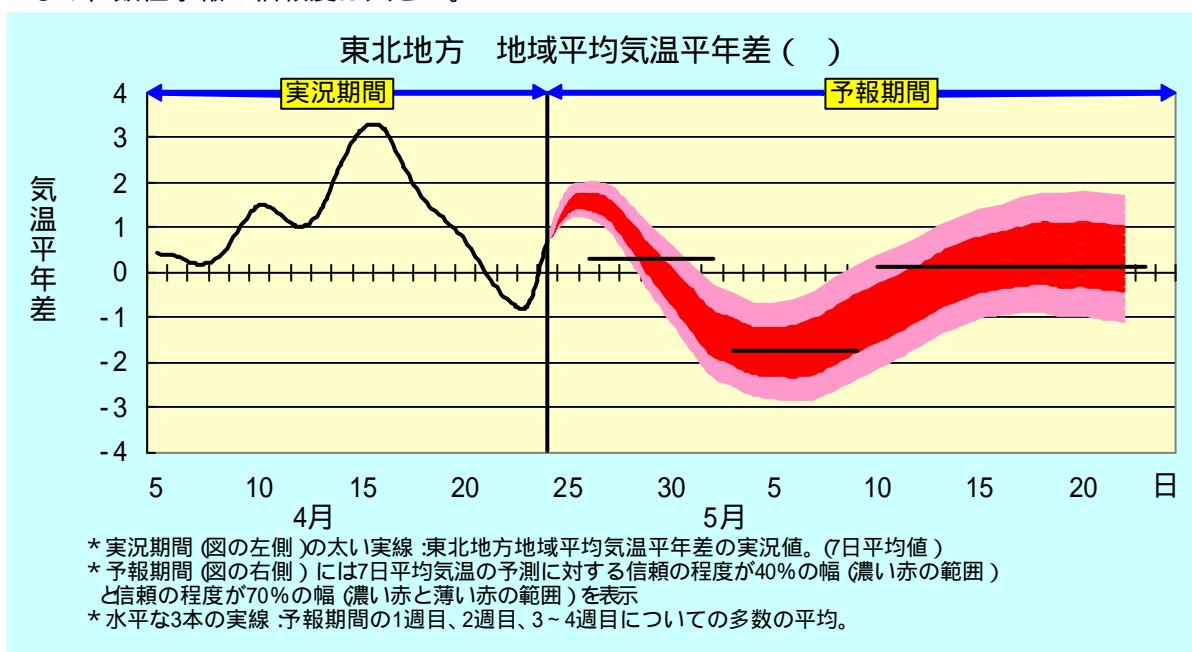
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.7日	3.9日	3.9日	7.9日
東北太平洋側	16.0日	3.9日	4.1日	8.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「平年並」、2週目を「低い」、3~4週目を「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

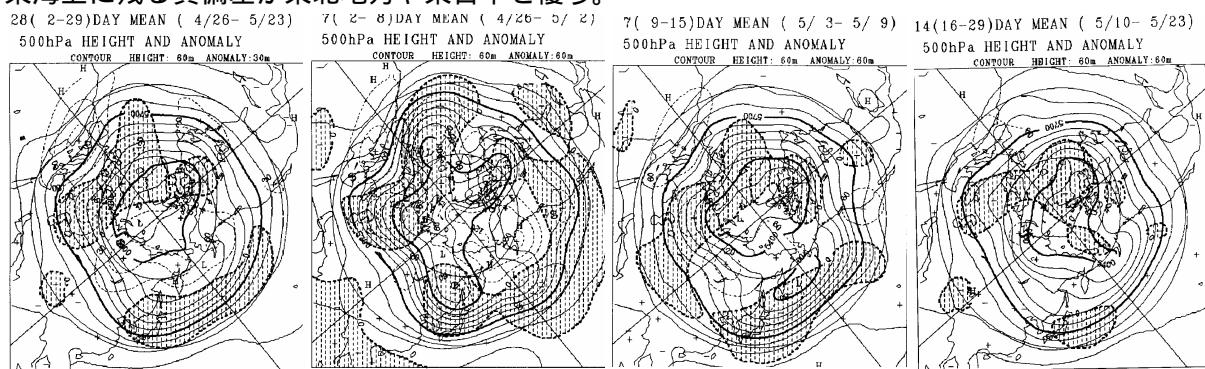


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアを中心に極東側は広く正偏差に覆われる。一方、日本付近は、北太平洋の中緯度域に東西に伸びる負偏差に覆われる。

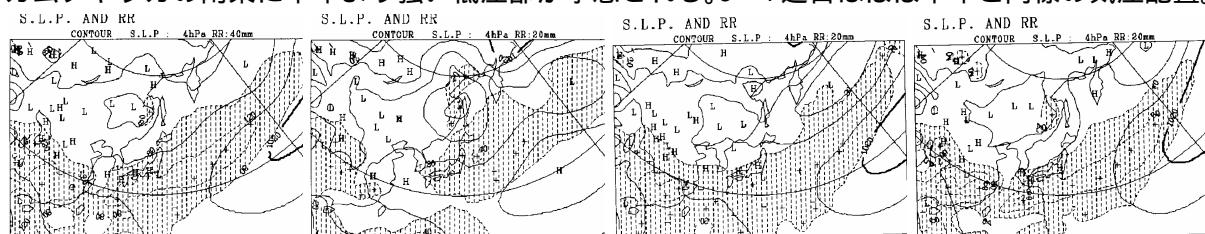
週別に見ると、1週目は寒冷低気圧がサハリンの北に進み、中国東北区から日本付近は負偏差。2週目は寒冷低気圧がカムチャツカの東に進む。偏差分布は月平均と同様。3~4週目は、日本の東海上に残る負偏差が東北地方や東日本を覆う。



地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン列島から中国東北区にかけて平年より気圧が低いが、日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は周期変化が基調となる。日本の南海上から東海上に降水域が広がるが、まとまった降水域は日本の東海上と東日本以西の太平洋側が中心。

週別に見ると、1週目はサハリンに低圧部が予想され、降水域が東北地方にもかかる。2週目は、カムチャツカの南東に平年より強い低圧部が予想される。3~4週目はほぼ平年と同様の気圧配置。

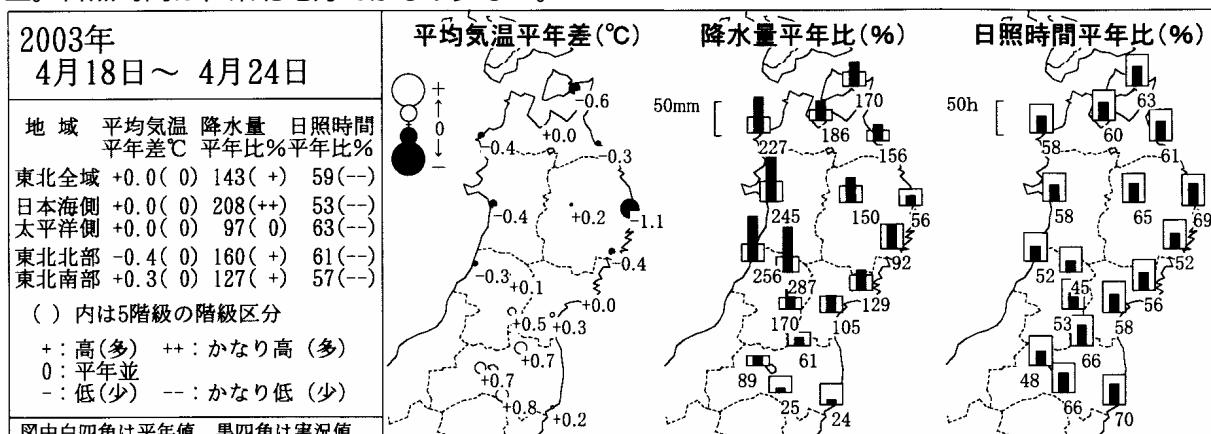


4. 最近1週間(4月18日~4月24日)の天候の経過

この期間、18日と22日に高気圧に覆われ概ね晴れた他は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くかった。

なお、20日は青森、22日は八戸で桜が開花した。

平均気温は、東北地方で平年並。降水量は、東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は、東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)